

産経新聞 2018年10月22日 「ひこばえ倶楽部」への投稿掲載

(平成29年度入学) 高校2年(文理コース) C組 吉成康博 君

8月11日の「山の日」、家族で高野山に行きました。先祖の魂が極楽から現世に戻ってくる仏迎えの日です。奥の院前にある墓にロウソクと線香を立て、般若心経ですが、何度も口に出して読んでいると、次第にしんどくなってきました。

小さい頃は、なぜこんなことをするのだろうと不思議でした。しかし、中2の夏、私はたまたま部活の試合があり、仏迎えに行けませんでした。

その夜、初めて金縛りに遭いました。翌日、母に話すと「それって今年、高野山に行かなかったからじゃない？」と言われました。私はハッとして、やはり先祖供養は大事なことだと思いました。

以来、毎年高野山に行き、先祖供養をしています。今の自分があるのは、先祖の人たちが築いてきた歴史があるからです。時には思い出してみてもいいかもしれません。